

<点滴療法を目指す歯科医師の先生方へのメッセージ>

これまでの歯科医療は、「口腔の健康」のために「感染制御の精度を高める」ということだけに目が向けられてきたと言っても過言ではないように思います。そして現在も、これらが歯科医療の根本をなす事には何ら反論の余地はありません。しかしながら、「口腔」と「全身」を別々に分けて健康を考えることなどできるはずもありません。これは、ヒポクラテスの時代から医療の基本として言われてきたことです。

1920年代の「Focal Infection Theory」に始まり、口腔疾患と全身疾患の関係性を示すエビデンスは多数報告されてきました。

1980年代からは、歯周病とCHDやDMなどの全身疾患との関係性についての解明が進められてきました。

そして、歯周病やエンド病変を原発とした、全身的な慢性炎症への移行や酸化ストレスの増加が起こり、結果的にさまざまな全身疾患に継発していく免疫学的システムや分子生物学的システムが明らかにされつつあります。

先進的な歯科医師は、このような時代の流れを早期に臨床に反映させ、よりよい医療を患者に提供する使命があると考えます。

点滴療法は、そのような「歯科医療のパラダイムシフト」を具現化してくれる強力な治療法であると確信しております。

医療法人インペリオクリニック

理事長 新福泰弘